

# 卵管留水症に対する手術療法の有効性 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年7月31日～2023年3月31日

〔研究課題〕 卵管留水症に対する外科的治療法の有効性に関する後方視的研究

〔研究目的〕

卵管留水症に対する手術方法には、根治術である卵管摘出術と、それに準ずる卵管切断術および、卵管機能の温存をめざす卵管開口術があります。本研究では、卵管留水症の診断で手術を受けられた方の、手術に至るまでの経緯、手術後の経過や妊娠分娩について調査することで、手術方法ごとの有効性を検証することを目的とします。

〔研究意義〕

本研究により、卵管留水症の診断を受けられた方の個別の状況に応じて、より適した手術方法を選択することが可能になると期待されます。

〔対象・研究方法〕

2014年1月から2020年3月までに帝京大学医学部附属溝口病院産婦人科において、卵管留水症に対する手術を受けられた方を対象とします。検査所見(画像検査、血液検査)、手術内容、術後の妊娠分娩について、診療録をもとに、調査します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院 産婦人科

〔個人情報の取り扱い〕

患者さんのID番号、氏名とは切り離し、「症例番号」で匿名化したうえで管理します。患者さんの個人情報は厳重に保護されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：西井修 教授

研究分担者：松山玲子 助教

所属：帝京大学医学部附属溝口病院 産婦人科

住所：神奈川県川崎市高津区二子5-1-1 TEL: 044-844-3333(代表) [内線3233]